

令和
8
年度

いよびのちり



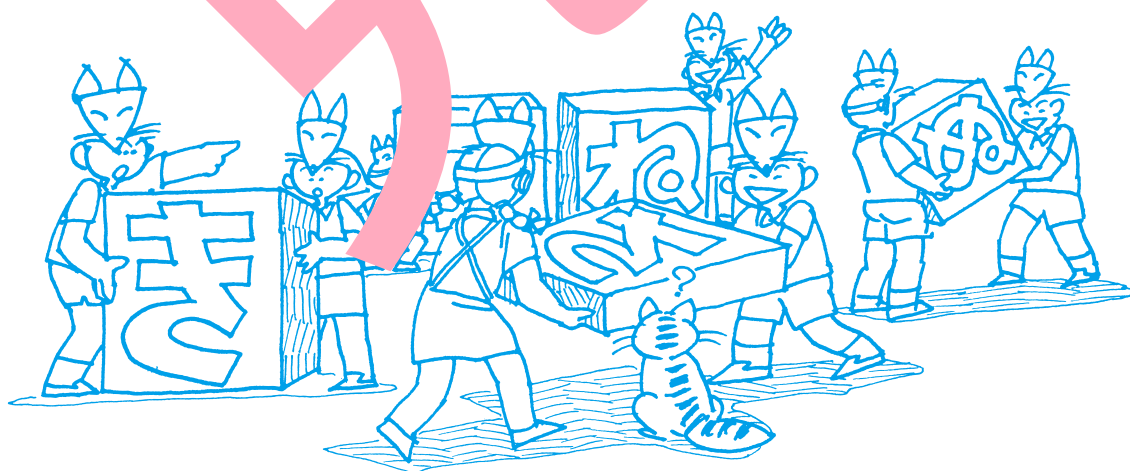
表紙

カット

幸田

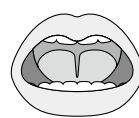
大須賀 先生

一	ことばあそび	1
二	ことばあつめ	2
三	にごんおん	4
四	ぶんをく	5
五	くつつきの	7
六	てんとまる	13
七	つまるおん	14
八	ことばあめ	17
九	ことばあそび	19
十	のばしてよむことば	24
十一	ちいさい「や」「ゆ」「よ」	24
十二	音 ^{おと} やようすをあらわすことば	26
十三	かん字あつめ	28
十四	かたかな	28
十五	よう日 ^ひ と日 ^ひ づけ	32
十六	まとめてよぶことば	32
十七	かぎ	34
十八	かたちのにているかん字 ^じ	34



ことばあそび 1

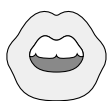
(一) くちのかたちをきをつけてよみましょう。



あさから
あいうえお
あめり



いるかと
あいうえお
い



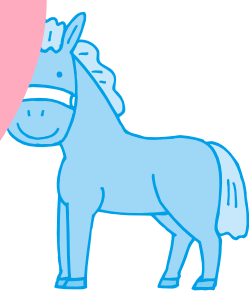
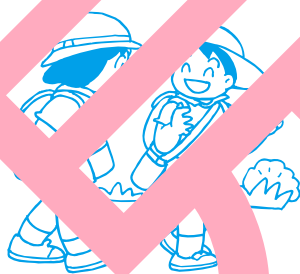
うまさん
あいうえお
うたうよ



えがおで
あいうえお
えんそ



おにさん
あいうえお
おこるよ



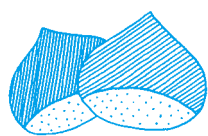
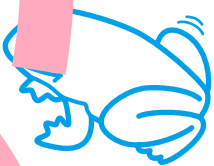
	よくできた
	できた
	もうすこし

くちのかたちをきをつけて
よむことができた



二 ことばあつめ 1

(一) つぎの おんが はじめに ことばを てを うちながら いいましょう。

こ	く	か
		
こ	く	か
		
こ	く	か
		え
		る

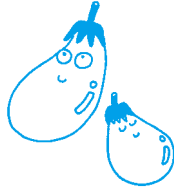


(二) つぎの おんが つく ことばを いいましよう。

っ



す



し

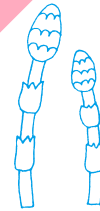


し

っ



す



っ

す

し

おんがつくことはを
いうことができた

よくできた



できた



もつすこし

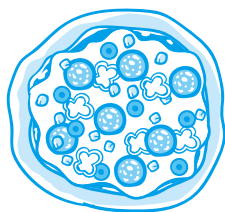


三 にごる おん

(一) えと ことばが あうように

や

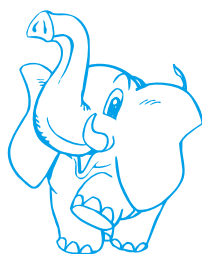
どつけましょう。



ひ
さ



は
ん



そ
う



う
る



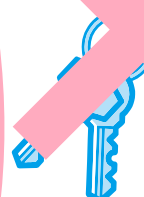
ー
ん
き
ん



オ
メ



て
ん
き



か
き



やってみよう



もんだい

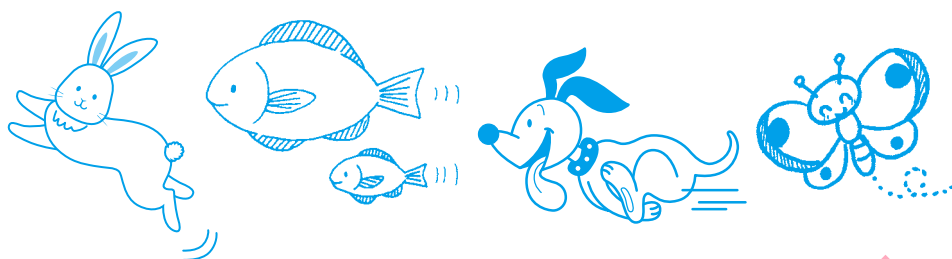


こたえ



四 ぶんをつくろう

(一) えをみて ぶんをつくりましょう。



4

が

3

い

2

ぬ が

1

ち よ つ

。

。

。

と ぶ 。

(どうする)

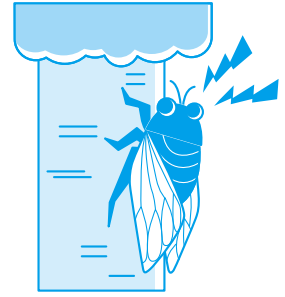


やってみよう



ぶんをつくろう





8

7

6

5

が

が

が

か

なにが

。

。

。

。

（どうする）

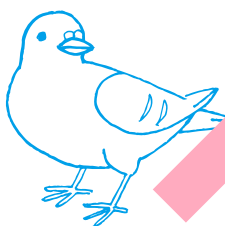


五くつつきの「はへ・を」

(一) 「は」の つく ものの なまえを

かきましよう。

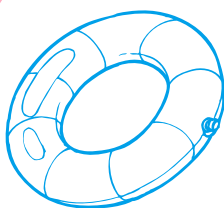
は	
し	



(二) 「わ」の つく ものの なまえを

かきましよう。

わ	



(三) つぎの えを みて  のなかに ことばを かきましよう。くつつきの 「は」を

 に かきましよう。



かわいい。



はきものです。



こうつです。



くつつきの 「は」 は、ものの なまえの したに ます。
くつつきの 「は」 は、「は」と かいて 「わ」と よめます。



(四) つぎの えを みて

 のなかに ことばを かきましよう。くつつきの 「を」を

 に かきましよう。

わたしは、



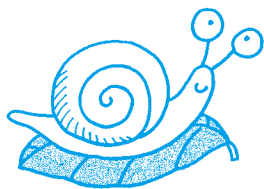
たべました。

おねえさんは、



かき
ました。

おとうとは、



かまえました。

なぞりましよう

を

れんしゅう
しましろう

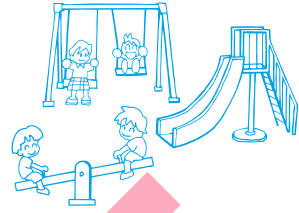
くつつきの 「を」 は、 ものの なまえの したに かきまします。
くつつきの 「を」 は、 「を」と かいて 「お」と よめます。



(五) つぎの えを みて  のなかに ことばを かきましよう。くつつきの 「へ」を

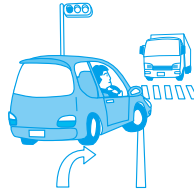
 に かきましよう。

ぼくは、



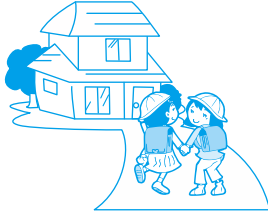
いきたいです。

くるまが、



まがります。

わたしは、



どりをします。

くつつきの 「へ」 は、ものの なまえの したに かきます。
くつつきの 「へ」 は、「へ」と かいて 「え」と よめます。

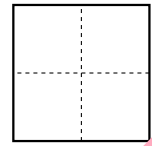


(六) つぎの □ の なかに 「は、わ、へ、え、を、お」 の どれか を かきましよう。

は・わ

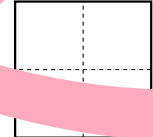
へ・え

を・お



たし

おねえさん

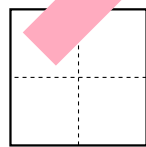


みがきを しています。

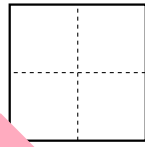
どうぶつが すきです。

ぼくは、ひとりで い

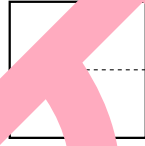
かえりました。



わたしは、ほいくえん

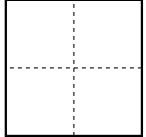


つとま むか

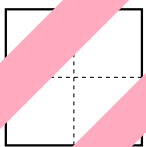


ました。

ぼくは、あさが

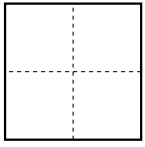


のかんさー

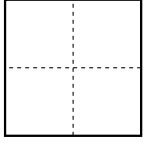


しま

て

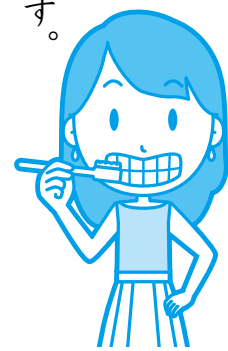


あげて



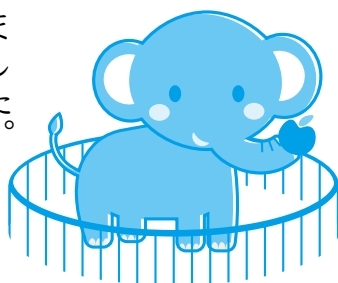
うだんほど

わたります。



(七) つぎの「」のなかは、どちらがただしいでしょう。よいほうを○で
かこみましょう。

5	4	3	2	1
かえる かへる	わたし はたし	ともだち	ぞうは、	ぼく
が、 はえ	は、 がっこう	わ は	おり をり	わ は
お を	え へ	、 まっかな	、	み
つかまえました	んと	か お	で	お
	お	を	えき	つか
		お	を	えに
		へ	へ	うらやま
		しり	ます。	え へ
	て	ました。		いきました。
	いきました。			



もんだい



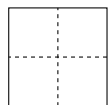
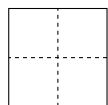
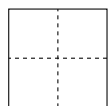
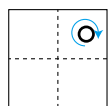
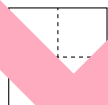
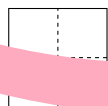
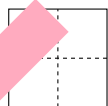
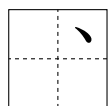
こたえ

やってみよう



六 てんと まる

(一) 、^{てん}や 。^{まる}の かきかたを れうしましう。



(二) きって よむ ところ に ぶんの おわりに 「てん」を つけましよう。

1 ぼ く は み ん と あ そ び ま た

2 き の う ご み ひ ろ い を し ま

きって よむ ところ には、 (てん) を つけます。
ぶんの おわり には、 (まる) を つけます。
(てん) や 。 (まる) は、 ますの みぎうえに かきます。

よこがきの ときには
「、」「。」を
かく ばしよが
わかるよ。
なぞって みよう。

ぼ く は、 げん き です。



七 つまる おん はる おん

(一) 「つ」や「っ」に きをつ つて よみましょう。

ま
っ

り

て

っ

ぼ

う

え
に

っ

き

て

っ

ぼ

う

か
っ

ぱ

っ

っ

こ

う

おおきい
ちいさい

っ

は はっきり

こえに だして よみます

つまったように よみます。

よくできた
よむことができた

よくできた

できた

もうすこし

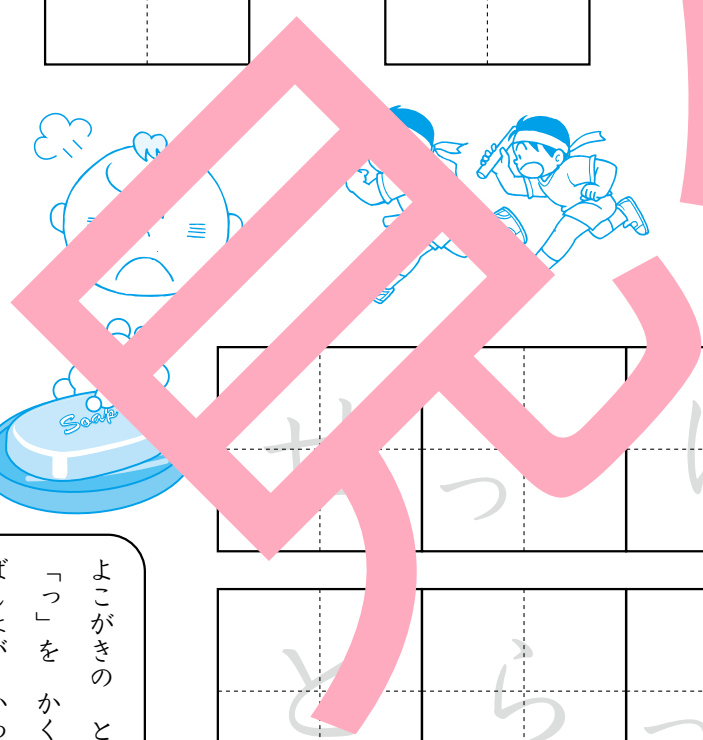
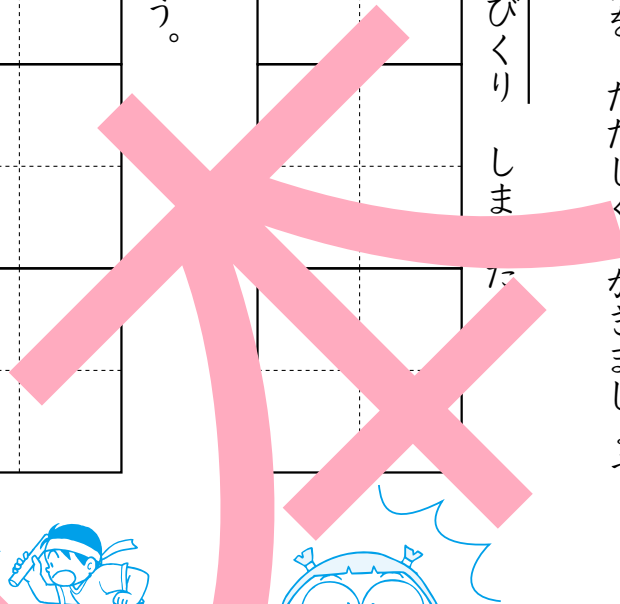


(二) ——— の ことばを ただしく かきましよう。

おおきな おとに びくり しま

かけこを しましよう。

ともだちが おこた。



た	っ	け	ん
---	---	---	---

と	ら	っ	く
---	---	---	---

よこがきの ときには
「っ」を かく
ばしよが かわるよ。
なぞって みよう。



つまるおん はねるおん

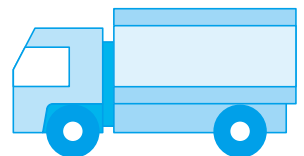


もんだい



こたえ

やってみよう



(三) 「ん」に きを つけて よみましょう。

• ゆ う び ん |

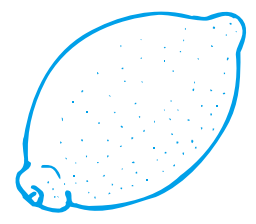
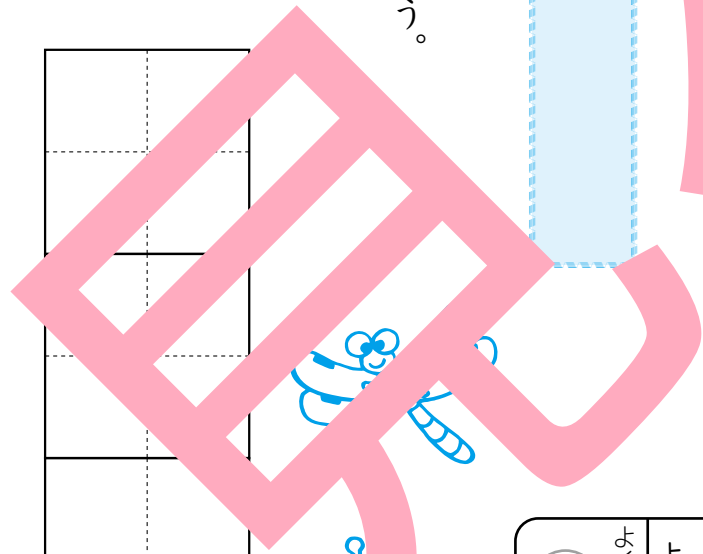
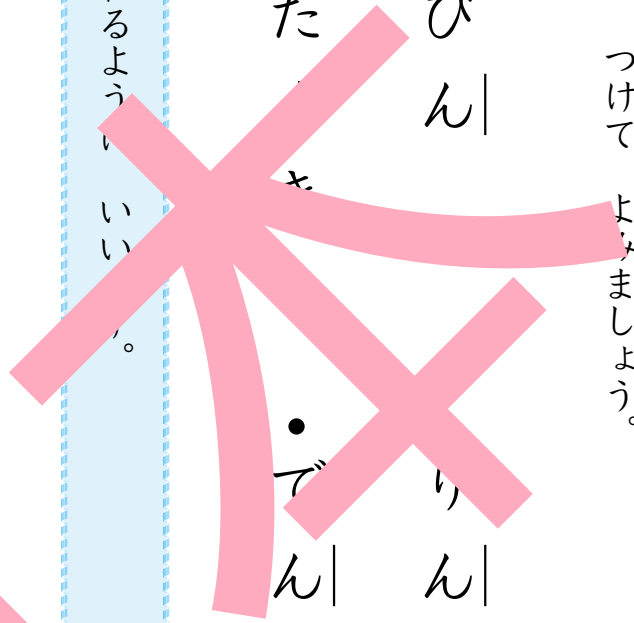
• せ ん | た

• だ ん | わ

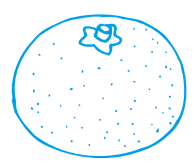
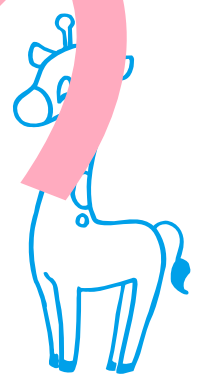
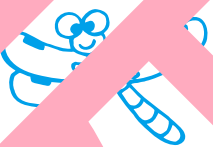
• り ん | ご

「ん」は、はねるようい

(四) 「ん」の つく ことばを かきましょう。



「ん」にきをつけて よむことができた	よ く で き た
	で き た
	も う す い じ



八ことばあつめ 2

(一) えをみて しりとりあそび

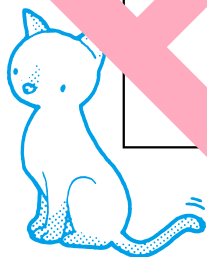
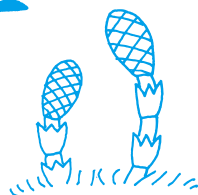
しましょう。

し



まつ

し



やってみよう



しりとり



(二) どんな ことばが かくされて いるのでしょうか。 あいている 空に あてはまる もじを

かきましよう。

(れい)

ね

た

こ

め

ぬ

り

え

の

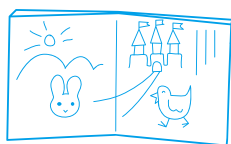
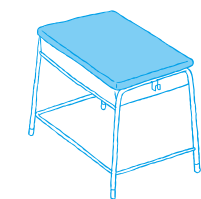
ぐ

ま

し

い

か



で

ん

か

め

ま

め

ち



九 ことばあそび 2

(一) はつきり こえに だして

みじょう。

あ

かやにな

いま

のです

あかいはな

い

きしちに

いいてす

いひとつ

う

くすつぬ

ふむるうです

かぶね

え

けせてね

へめえれえ

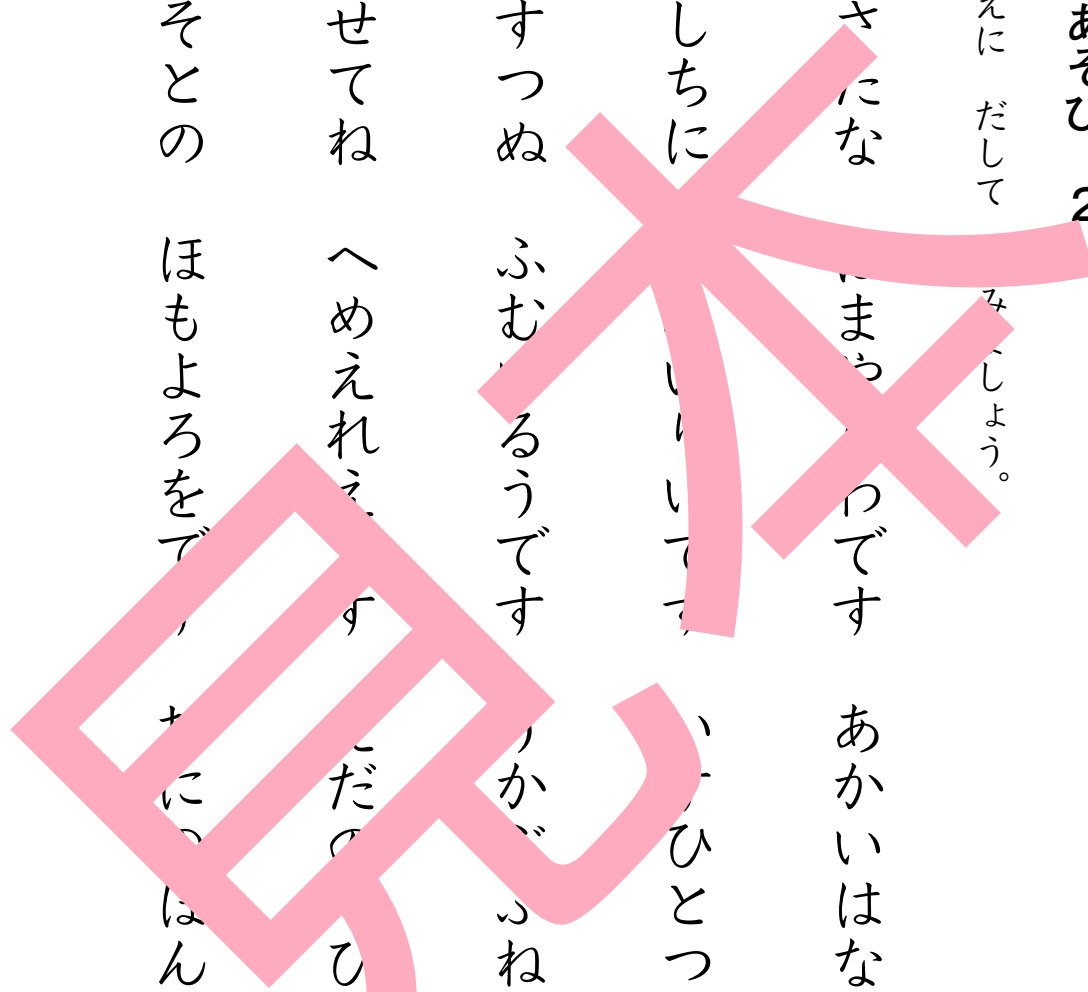
だのひ

お

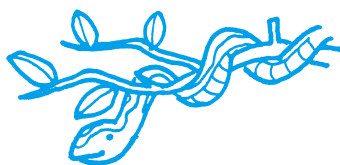
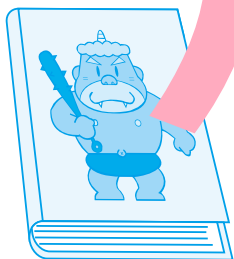
こそとの

ほもよろをで

たのはん



はつきり	よむことができた
できた	よむことができた
できた	よむことができた
できた	よむことができた



十のばしてよむことは

(一) のばす おん()にきをつけてよみましょう。

おかあさん
おにいさん
ちいさい

たいふう
くうき
おひさま

すもう
べんとう
ほうき
うー

とけい
せんせい
こおり
おなか

「かあ・にい・ふう」のようなおんは、「のばす」
ながく のばして よみます。



ひらがなで

「ー」は つかわないよ。

× ぶーる

○ ぶうる

「ー」は P28で ならうよ。

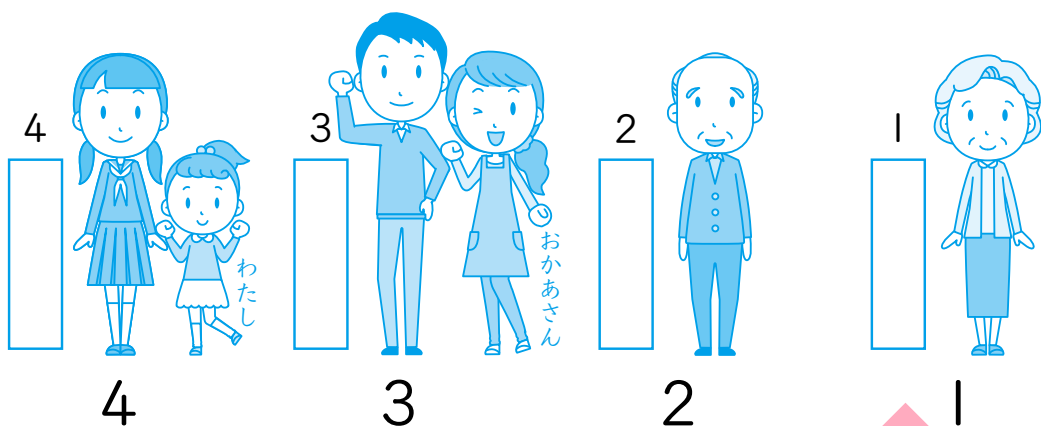
のばすおんにきをつけて
よむことができた

よくできた

できた

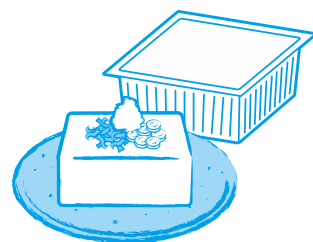
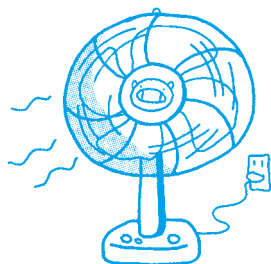
もつすこし





(二) えをみて  の なかに  とばを かきましよう。



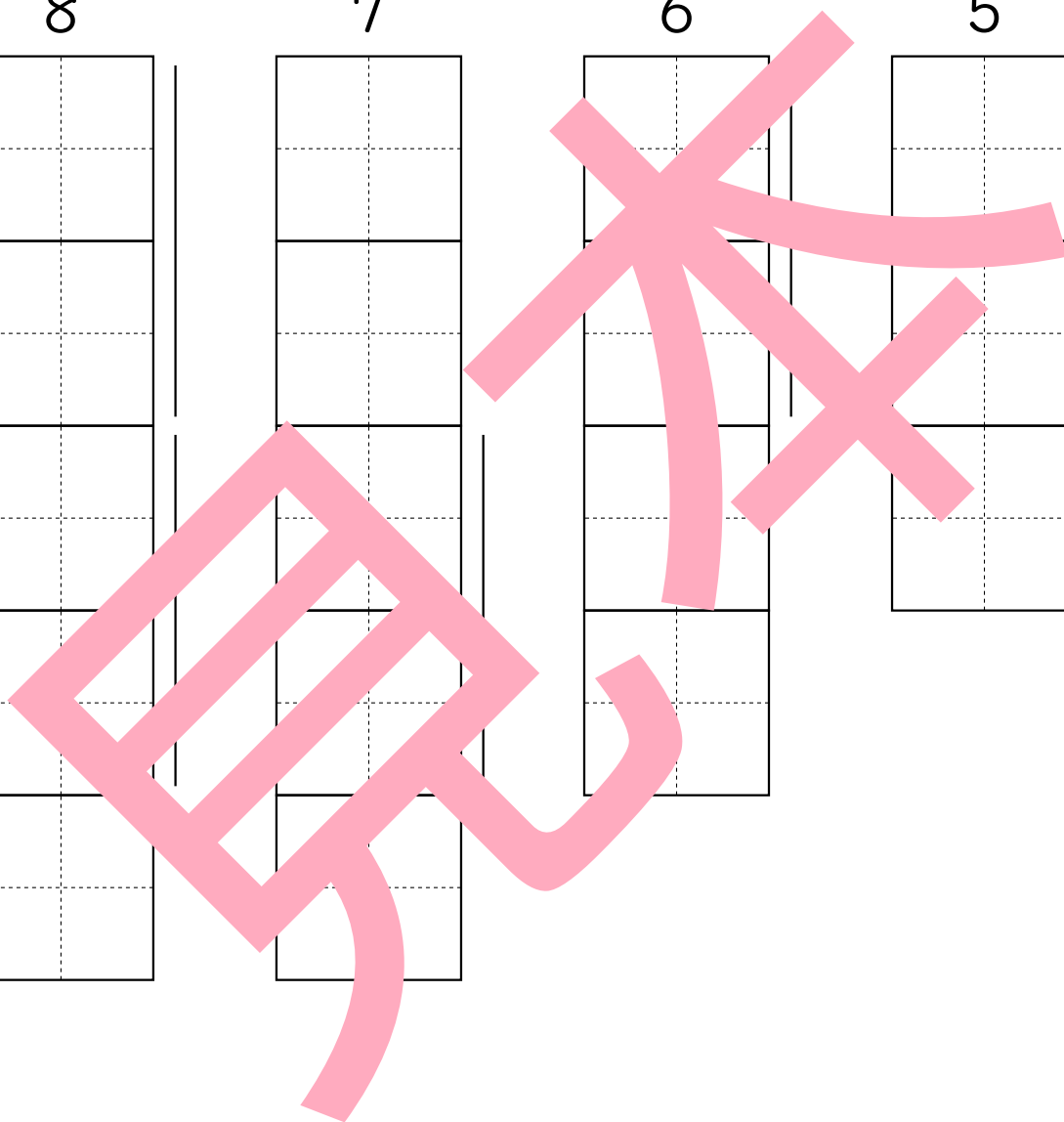


8

7

6

5

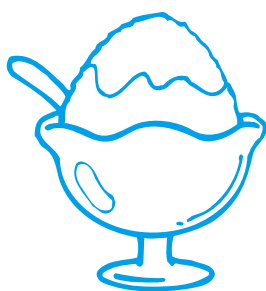


みてみよう



NHK for school
「かなづかいの ルール」

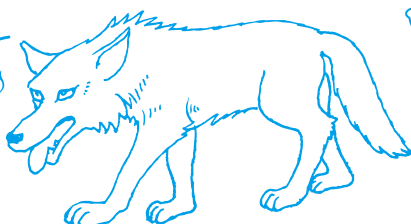




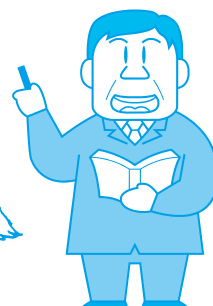
12



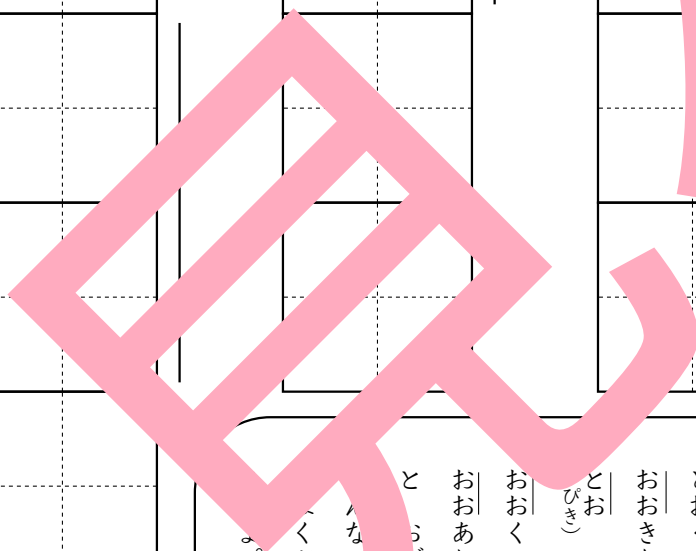
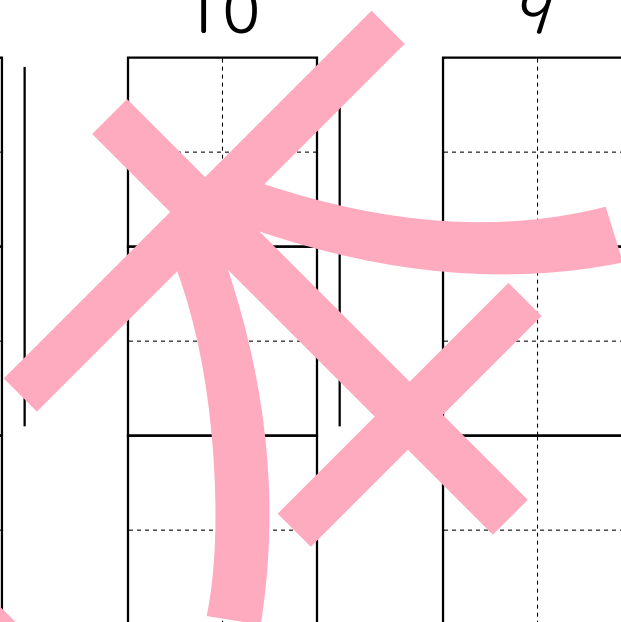
11



10



9



ほおずき

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」

とおおあわて。」



もんだい



こたえ

やってみよう



のばしてよむ ことば





かきましよう。

十一
ちいさい
「や」
「ゆ」
「よ」

よこに かく



みてみよう

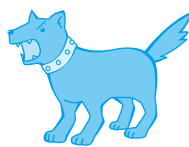
NHK for school
「ちいさく　かく　かな」



十二 音^{おと}や ようすを あらわす ことば

(一) 物の 音^{おと}や ようすを あらわす ことばと かきましよう。

どうぶつ



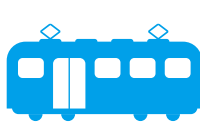
がつき



てんき



のりもの



わ

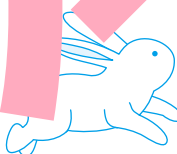
ん

ん

ん

ん

ん



みてみよう

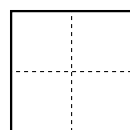
NHK for school
「きゅっきゅつ
と
ぎゅっきゅつ」



十三 かん字あつめ

(一) の 中に かん字を かき かえうたを よみましょう。

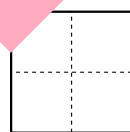
いち(ひと)



一つ

ひらひら
はなはな

いち
い



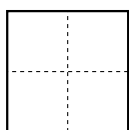
六つ

むかしの
おはなし

ろく
六さつ



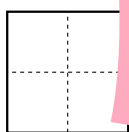
に(ふた)



二つ

ふきけす
ろうそく

ふた



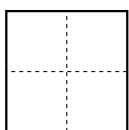
はち

かいてる
かみ

しち
七わ



さん(みつ)



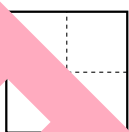
三つ

みどりの
おふねが

さん
三そう



はち(やつ)



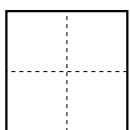
はち

まには
みれが

はち
し



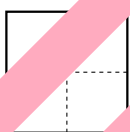
し(よん・よつ)



四つ

よくばり
ジュースを

よん
四はい



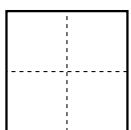
じゅう

こね
こ

きゅう
九ひき



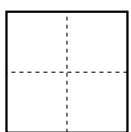
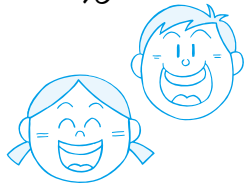
ご(いつ)



五つ

いつでも
なかよし

ご
五にん



じゅう

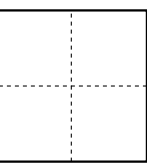
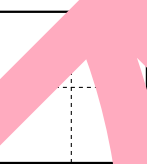
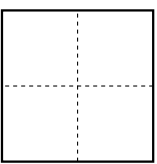
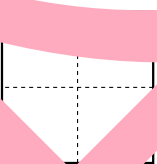
とうとう
なわとび

じゅう
十かい



(二) つぎの かたちから できた かん字を  に かきましよう。() に よみがなを

つけましよう。



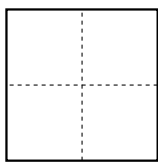
かん字には、ものの かたちから できた ものが

(三) つぎの しるしから できた かん字を  に かきましよう。() に よみがなを

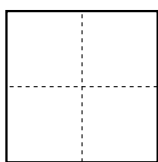
つけましよう。



(よこぼうより うえ)



(よこぼうより した)



かん字には、しるしから できた ものが あります。





かたかなで のばす 音を おん かく ときには、「」をつかいます。

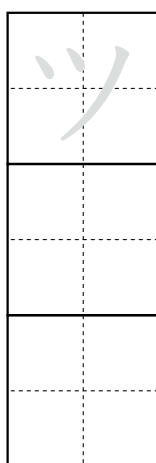
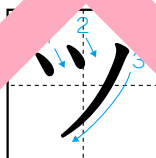
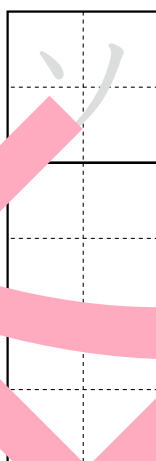
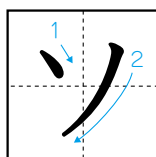
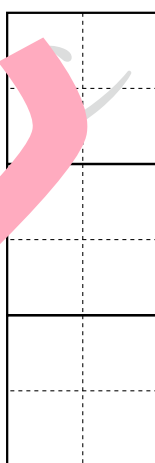
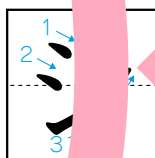
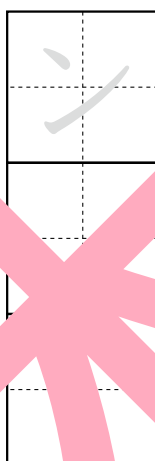
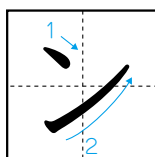
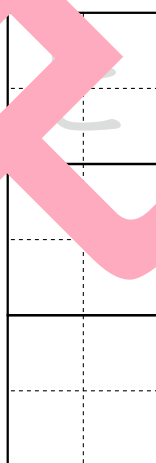
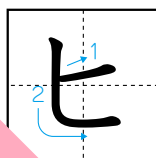
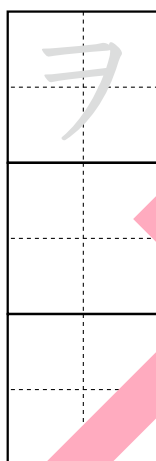
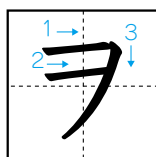


() ()
ノ ノ
ー ウ
ト ト



() ()
ピ イ
マ マ
ン ン

(二) 正しく ただ かいて ある ほうに ○をつけます。



(一) かきじゅんと はらいの ほうに き 気をつけて かきましょう。

十四 かたかな

よこに かく とき

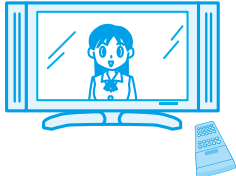


(三) にかたの かの かたかなを なぞりましょう。

ワ	ク
ユ	コ
ヒ	フ
ラ	テ
メ	ナ
ミ	ニ
ア	マ

(四) つぎの えの ことばを かたかなで かきましよう。





















十五 よう日と 日づす

(一) カレンダーに よう日の か
よみかたを かきましよう。

(二) つぎの かん字の よみかたを
かきましよう。

日	月					
(にち)	()	()	()	()	()	()
よう日び	よう日び	よう日び	よう日び	よう日び	よう日び	よう日び

2026年11月
ねん がつ

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

六日	五日	四日	三日	二日	一日
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	二十日	十日	九日	八日	七日
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()



十六 まとめて よぶことば

(一) つぎのことばを まとめて よぶことばは なんてしよう。

あさがお

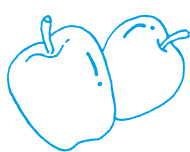
ひまわり

エーリ



りんご

バナナ



バス

ひこうき

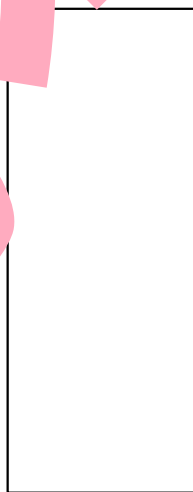
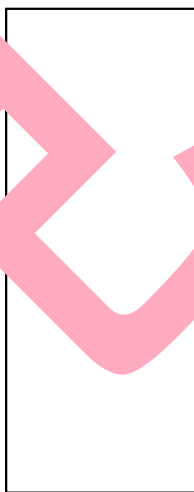
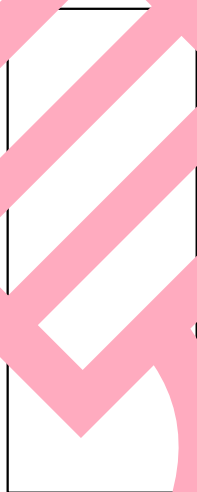
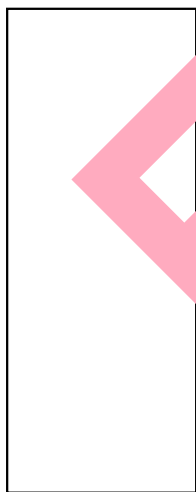
でん車しゃ



つばめ

はと

にわとり



のなかま

のなかま

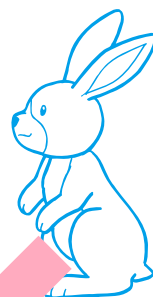
のなかま

のなかま



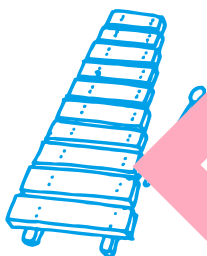
(二) つぎのことばの なかまには、どんな ものが あるでしょう。下^{した}から えらんで かきましよう。

どうぶつ ↓



がっき ↓





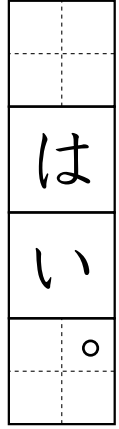
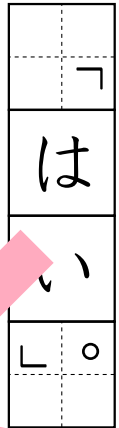
うさぎ	たいこ	ねこ	もっきん	ぞう	きん	すず	犬 ^{いぬ}	ピアノ
-----	-----	----	------	----	----	----	-----------------	-----





十七 かぎ

(一) 「」 (かぎ) の かきかた



(二) 人が はなした ことばに 「」 (かぎ) を つけましょう。

1

と		
い	お	ぼ
い	は	く
ま	よ	は
し	う	
た	ご	
	ざ	ん
	い	せ
	ま	い
	す	に
		。

2

と		
、	た	わ
げ	だ	た
ん	い	し
き	ま	は
よ		。
く		
い		
い		
ま		
た		
。		

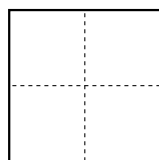
だれかが はなした ことばには、「」 (かぎ) を つけて かきます。



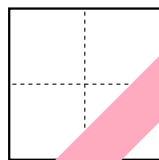
十八 かたちの にて いる かん字

(一) かたちの にて いる かん字を 正しく かきましよう。

ひと

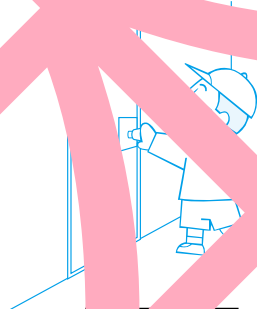


が

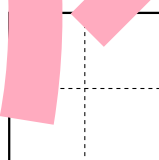


はい

る。

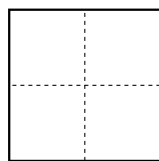


き



の

下^{した}で

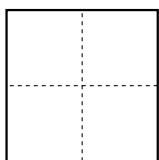


ほん

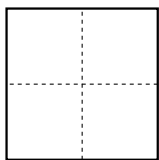
を

よむ。

いし



を

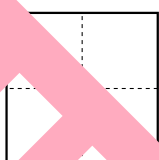


みぎ

がわに

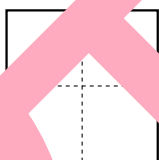
おく。

つち



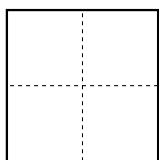
の

う

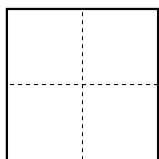


。

ひやく



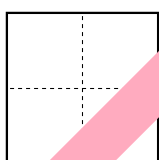
まいの



しろ

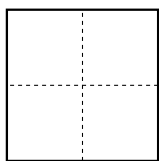
い

かみ。



よ

日は



め

の

けんさ。



(二) なかまになる かん字を、きましょう。

1 からだの なかまの かん

あし

て

め
みみ

くち

2

かずの なかまの かん

いち

じゅう

ひ

せん

3

よう日^びの なかまの かん字^じ

にち

げつ

か

す

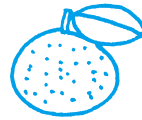
く

きん

ど



●^{うえ}上から ^{ひだり}よんでも、左から ^{ひだり}よんでも
きちんとした ^{ひだり}ことばに ^{ひだり}するには、
どんな ^{ひだり}もじを ^{ひだり}入れたら ^{ひだり}よいでし



か	ら	
---	---	--

ず	う

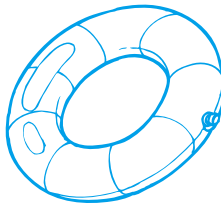


で

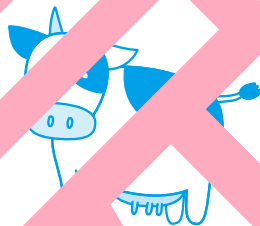
ふ	と



う	わ



	し



令和8年版 ことばのきまり 1年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電 話 0564-51-4819
FAX 0564-51-4788

印刷 株式会社 ヨシノ印刷

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





なま
ねん
くみ

見本